

## ○密着不良を起こしやすい床材

作業方法や塗布環境以外に**樹脂ワックスが密着しない事例がある床材**として、UV樹脂加工のような耐久防汚加工された床材やビニル床シート等があります。

●UV樹脂加工とは、UV光を用いた樹脂硬化加工で、加工時間が短く、熱や火を使わないため対象物に影響がなく安全で、床材としての耐久性や光沢が良いため、ワックスメンテナンス不要タイプとして、近年、様々な建物で使用されています。

UV樹脂床材は、一般的な化学床タイルに比べ表面が硬く、細かな凹凸が少なく、染み込みが少ないため、元々密着しにくい性質があります。施工後、ワックスが必要になり塗布しても、塗布後の塗膜表面に水分が滞留すると簡単に剥がれてしまうことも少なくありません。

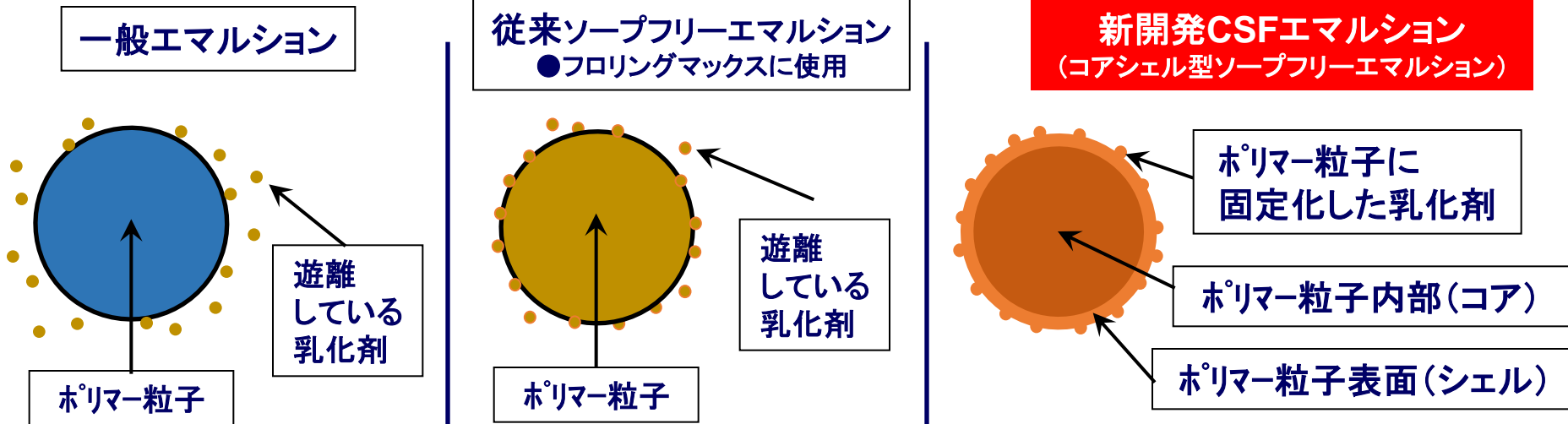
●ビニル床シートは、床材の内部に可塑剤が多く含まれている為、ワックスを塗布する前は入念に床表面の汚れや油分を洗淨除去しないと密着しにくくなります。新しいシートの場合、床面が温まる場合など、可塑剤がブリードしやすい条件ですと密着しにくくなります。

# 製品特徴詳細

## 1. 優れた密着性

高密着ハイグロスAgは、新開発**CSFエマルジョン**(コアシェル型ソープフリーエマルジョン)を採用。耐水密着性に優れ、UV樹脂加工などの耐久防汚加工された床材に最適です。

### 新開発CSFエマルジョンと他のエマルジョンの違い



新開発CSFエマルジョンは従来のソープフリーエマルジョンに比べ、乳化剤とポリマーの反応性が更に強く、遊離しているソープフリー乳化剤はわずかです。また、ポリマー粒子内部(コア部分)よりポリマー粒子表面(シェル部分)の疎水率が高く、耐水性、耐水密着性が非常に優れています。

エマルジョンのイメージ図

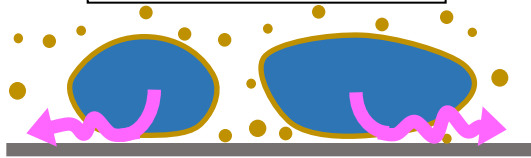
# 製品特徴詳細

## 1. 優れた密着性

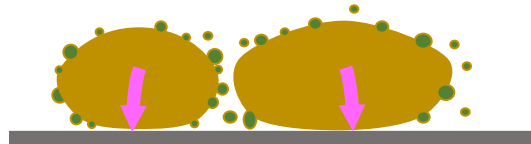
高密着ハイグロスAgは、新開発**CSFエマルジョン**(コアシェル型ソープフリーエマルジョン)を採用。耐水密着性に優れ、UV樹脂加工などの耐久防汚加工された床材に最適です。

高密着ハイグロスAg と他の樹脂ワックスの違い

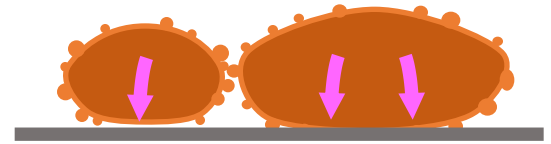
一般樹脂ワックス



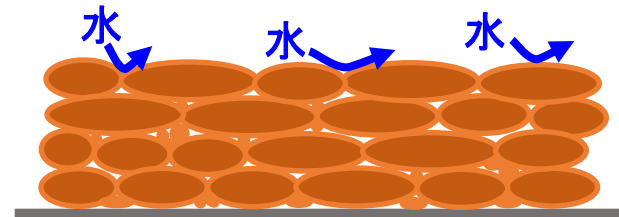
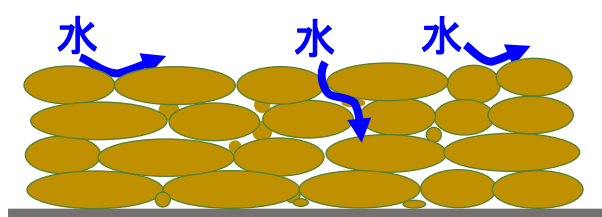
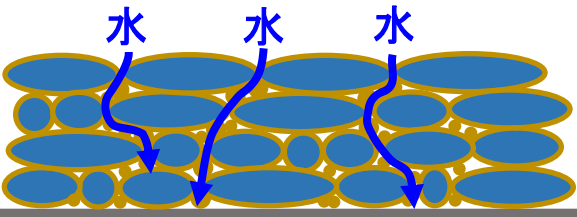
フローリングマックス



高密着ハイグロスAg



一般樹脂ワックスは、遊離した乳化剤が床材との密着を阻害し、平滑な床材には密着しにくい。高密着ハイグロスAgは、遊離した活性剤が極めて少ないので、ポリマー粒子同士が絡みやすく、かつ、床材の微細な凹凸にも絡みやすくなり、平滑な床材にも密着しやすい。(テープ密着性)



高密着ハイグロスAgは、塗膜内に乳化剤(界面活性剤)が少なく、表面が疎水性で緻密な塗膜になることで、水が浸み込みにくく、剥がれにくい。(耐水密着性)

エマルジョンからポリマーへ  
造膜形成のイメージ図

# 製品特徴詳細

## 1. 優れた密着性

---

### 密着性試験方法

- ・塗布性

洗淨した床材にワックスがハジかず均一に塗布できるか目視で評価

- ・テープ密着性(乾式密着性)

洗淨した床材にワックスを3回塗布し、24時間後にセロハンテープを貼りつけて一気に剥がしたときの塗膜の残り具合を目視で評価

- ・耐水密着性

洗淨した床材にワックスを3回塗布し、24時間後に塗膜に水を垂らして30分間置き、水を拭き取って30秒後にセロハンテープを貼りつけて一気に剥がしたときの塗膜の残り具合を目視で評価

# 製品特徴詳細

## 1. 優れた密着性

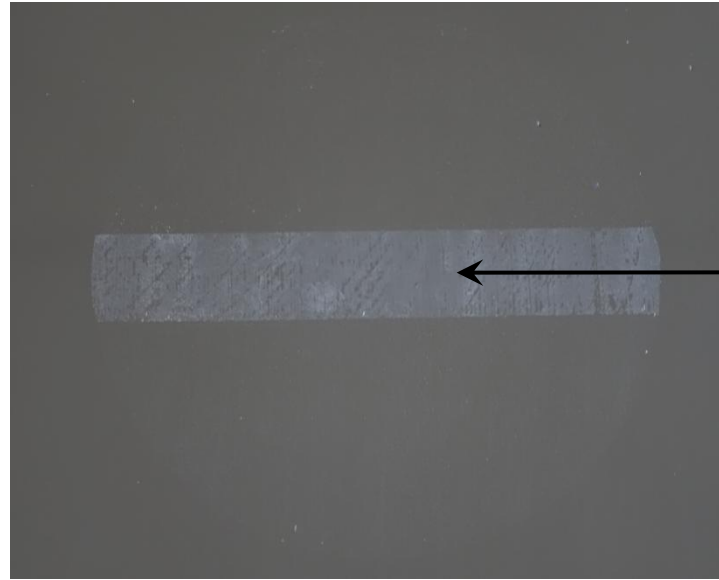
### 密着性試験方法

#### ・耐水密着性

塗膜を一定時間濡らして少し水で膨潤した状態でテープを貼りつけて剥がす。  
一般樹脂ワックスは塗膜が剥がれるが、耐水密着性のよいワックスは剥がれない。



高密着ハイグロスAg



塗膜の剥がれ

一般樹脂ワックス

# 製品特徴詳細

## 1. 優れた密着性 ●密着不良を起こしやすい床材との密着テスト

※中性洗剤50倍希釈塗布後、ポリッシャー赤パッドで洗浄

◎ = 完全密着 ○ = 密着 △ = 密着不十分 × = 密着不良

床材名	材質区分	表面加工	密着テスト結果	
			テ-°密着性	耐水密着性
床材メーカー A = 床材①	複層ビニル床タイル FT		◎	○
床材メーカー A = 床材②	置敷きビニル床タイル FO A	高耐久UV樹脂コーティング (EX仕様)	◎	◎
床材メーカー A = 床材③	複層ビニル床タイル FT	高耐久UV樹脂コーティング	◎	◎
床材メーカー B = 床材④	コンポジションビニル床タイル K T	特殊UV樹脂コーティング仕上げ	◎	○
床材メーカー C = 床材⑤	複層ビニル床シート FS		◎	◎
床材メーカー A = 床材⑥	発泡複層ビニル床シート HS	特殊UV樹脂コーティング仕上げ	◎	◎
床材メーカー B = 床材⑦	ビニル床シート FS		○	○
床材メーカー D = 床材⑧	ビニル床シート FS	防汚コーティング	◎	◎
床材メーカー B = 床材⑨	発泡複層ビニル床シート HS	特殊UV樹脂コーティング仕上げ	◎	○

# 製品特徴詳細

## 1. 優れた密着性

---

### ・下地剤としても使用可能

以前の下地剤(ベースコート)は、固形分が比較的高く、塗膜を柔らかくすることで床材に対する密着性を上げるものが多く、ドライメンテナンス用のベースコートとして販売されてきました。

吸い込みやすい多孔質のタイルや摩耗の激しいタイルに塗布することが多く、主にコンポジションビニル床タイル(単層)に塗布されてきました。

最近では平滑で耐久性があり意匠性の高いホモジニアスビニル床タイル(複層)が多くなり、従来の柔らかいタイプの下地剤(ベースコート)では密着しにくくなっています。特にUV樹脂加工などの耐久防汚加工された床材は密着しにくくなります。

高密着ハイグロスAgは、UV樹脂加工などの耐久防汚加工された床材に密着し、トップコートだけでなく下地剤としても使用できます。

また、他の樹脂ワックスと相性が比較的好く、プログロス、コアU、ストライドVS等自社製品をトップコートとして塗布しても問題ないことを確認しています。

### \*注意点

他社製品をトップコートとして高密着ハイグロスAgに塗布する場合は、念のため目立たない箇所で問題なく仕上がるか確認してください。